

【記入例 択伐後天然更新とする場合】

伐採する森林の在
する市町村に提出

伐採及び伐採後の造林の届出書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

千代田町長 高橋 純一 殿

・土地所有者。
・施工業者でも可

住 所 〇〇県△△市□□1893番地

届出人 氏名 △△林業 代表取締役 〇〇〇〇 印

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

森林の所在場所ご
とに記載

1 森林の所在場所

千代田町大字	字	2953地番、2954地番、2955地番
--------	---	----------------------

2 伐採の

皆伐、択伐、間伐
のいずれかに○

すぎ、ひのき、あかまつ、くろまつ、からまつ、えぞまつ、とどまつ、
その他の針葉樹、びぶな、ひのき、くぬぎ、その他広葉樹

立木材積に
よる伐採率

伐採面積	2.00 ha		
伐採方法	主伐(皆伐・ <u>択伐</u> ・間伐)	伐採率	30%
伐採樹種	松、広葉等		
伐採齢	100(90~120)		
伐採の期間	平成24年10月20日 ~ 平成25年12月20日		

1年を超える場合は、「2伐採の計画」を年次別に記載

の造林の計画
の方法別の造林面積等の計画

原則、主伐に係る
伐採面積と一致

伐採する森林が異齢林の場合、最も多いものの年齢を記載し、(最低林齢~最高林齢)を記載

面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入

造林面積 (A+B+C+D)	2.00 ha
人工造林による面積 (A+B)	ha
植栽による面積 (A)	ha
人工播種による面積 (B)	ha
天然更新による面積 (C+D)	2.00 ha
ぼう芽更新による面積 (C)	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他()・なし
天然下種更新による面積 (D)	2.00 ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他()・ <u>なし</u>

当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載

市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないように記載

複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載

伐採率 30%なので、植栽本数については 0.6ha (2.00ha×30%=0.6ha) で計算 (天然林なので 3,000 本以上/ha)

(2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数
人工造林 (植栽・人工播種)				
天然更新 (ぼう芽更新・天然下種更新)	H25.4.1 ~H30.3.31	広葉樹	2.00 ha	
5年後において適確な更新 がなされない場合	H25.4.1 ~H30.3.31	コナラ	2.00 ha	1,800 本
伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途				
備考				
林小班 ○-△-□、●-▲-■				

5年後において適確な更新がなされない場合、造林樹種、樹種別の造林面積、樹種別の植栽本数を記載

5年後において適確な更新がなされない場合

伐採後 5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合のみ記載

届出では 1ha あたり 3,000 本以上(残存木+植栽本数)と換算して記載。不足本数を植栽(植込み)

備考欄に林小班を記入

注意事項

- 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 伐採する者が伐採後の造林に係る権原を有しない場合にあつては、伐採する者と当該権原を有する者が連名で提出すること。
- 氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。
- 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 伐採年齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(○~○)」のように記載すること。
- 伐採の期間が1年を超える場合においては、2の伐採の計画を年次別に記載すること。
- 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。
- 造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合(伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。)における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。
- 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合のみ記載すること。